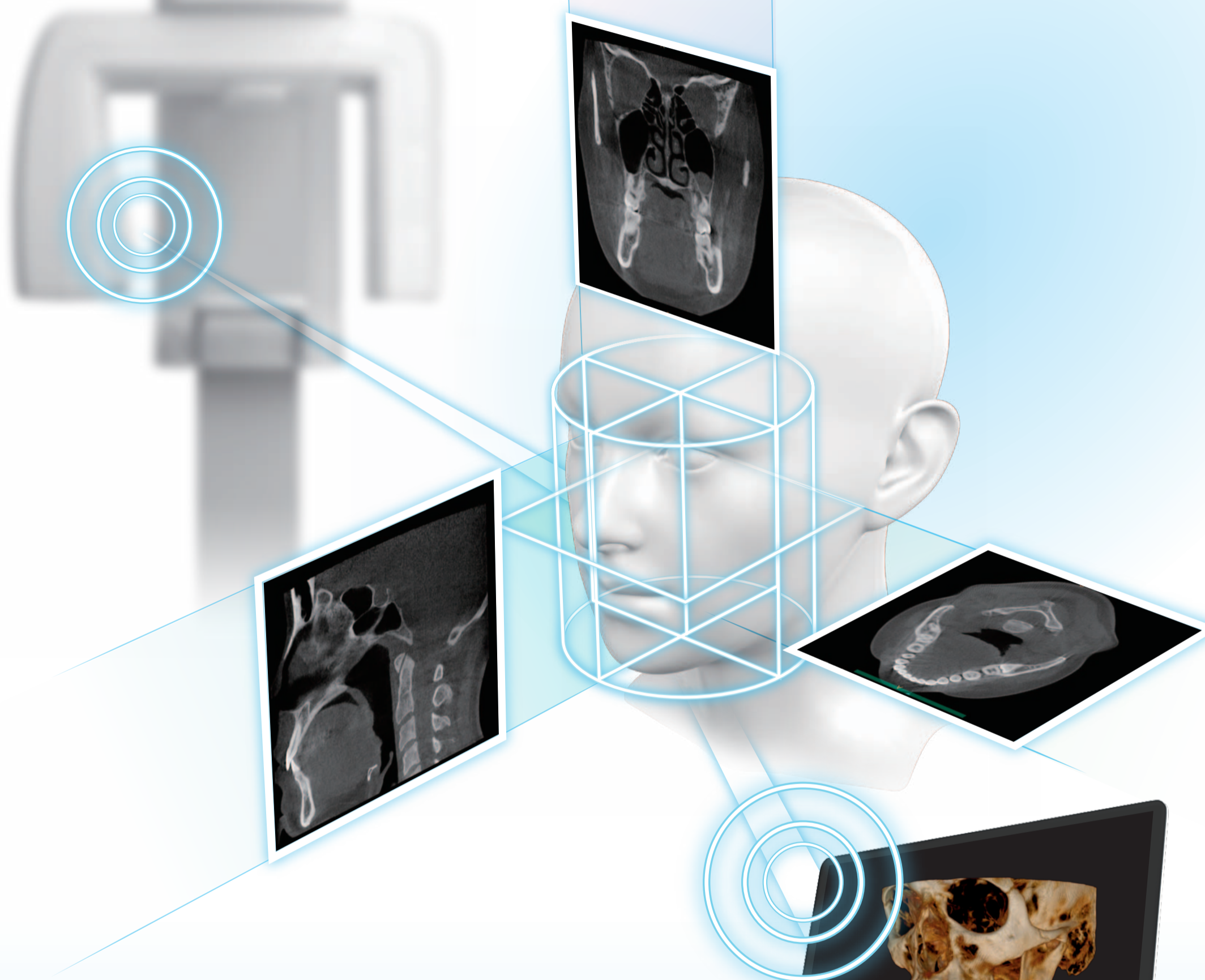


当医院では、被ばく線量の少ない高画質な 歯科用 CT 装置を導入しています。



被ばく線量の目安について

	1人あたりの自然放射線 2.4mSv / 年間 世界平均
2	1人あたりの自然放射線 2.1mSv / 年間 日本平均
1	胃の X 線検診 0.6mSv
	東京 - NY 間往復航空 0.2mSv
0.1	歯の CT 撮影 0.1mSv
0.01	歯のパノラマ撮影 0.014-0.024mSv
0.005	歯のデンタル撮影 0.005mSv

参考：ICRP2007 年勧告ノースカロライナ州立大学
研究データ等を元に株式会社ヨシダにて作成

歯科用 CT 装置とは、従来の CT 装置と比べ、X 線の照射領域を必要最小限に調整可能なレントゲンで、安心して撮影していただける CT 装置です。

CT 装置で診断する目的とは

CT 画像は、インプラントや歯周病などの高度歯科治療の診断に有効であり、従来の平面画像では難しいとされた、骨幅の確認などが行えます。CT 撮影で様々な角度から診断することで、安全な診査・診断、治療計画に役立てます。

詳しくは院長 または、スタッフにご相談ください。